

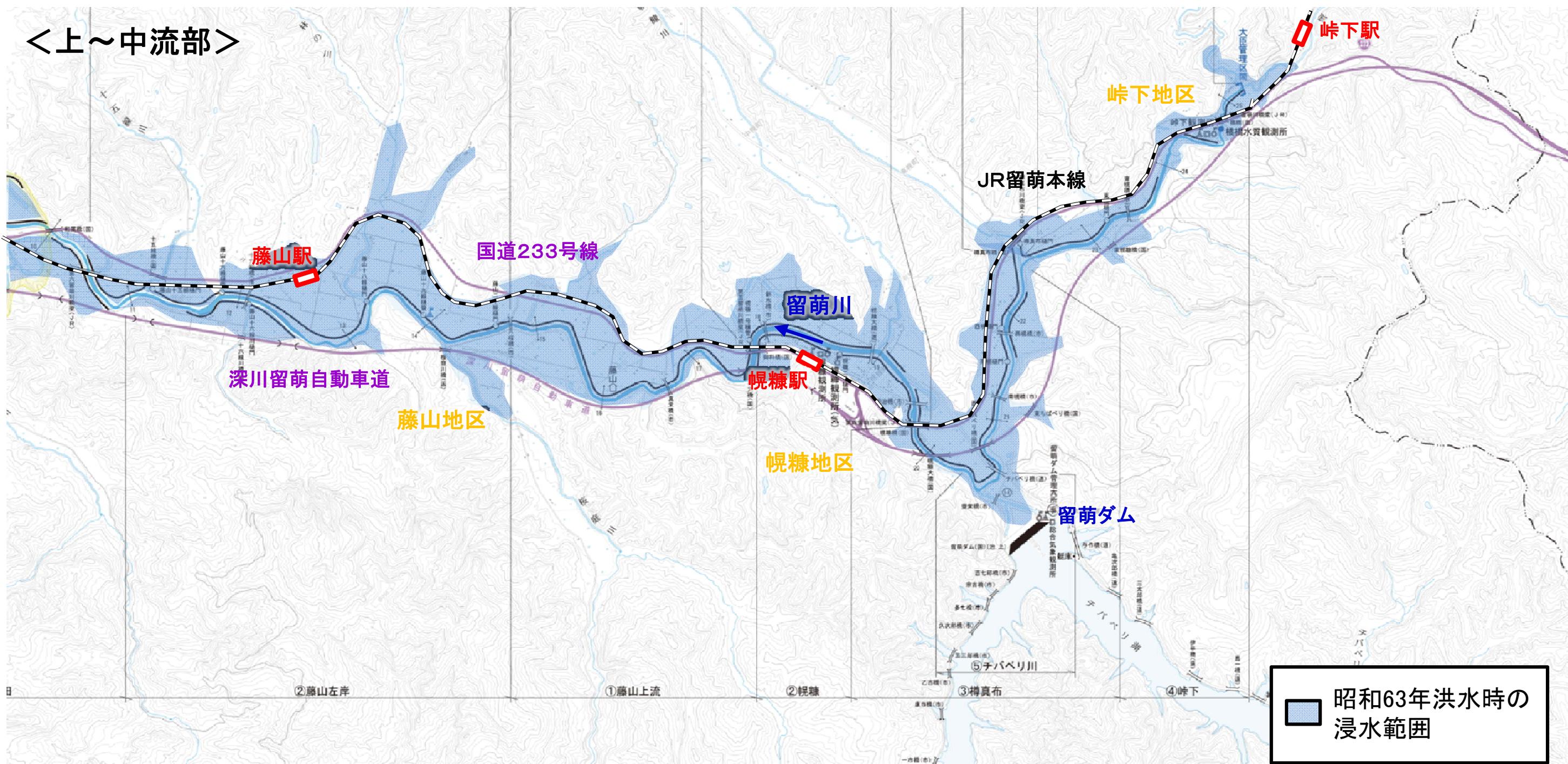
「水防災意識社会再構築ビジョンに基づく 留萌川の減災に関する取組方針(案)

天塩川下流・留萌川水防連絡協議会 留萌川減災部会

3. 留萌川の概要と主な課題～留萌川の地形的特徴～

- ① 山地に挟まれた地形(谷底を流れるような地形)を流下することから、流域内に降った雨は短時間で留萌川に集中する。
- ② 中上流部では狭隘な低平地が河川沿いに分散し、集落が形成されており、下流部では三角州状の低平地に留萌市街地が形成され、留萌川が市街中央部を貫流する。

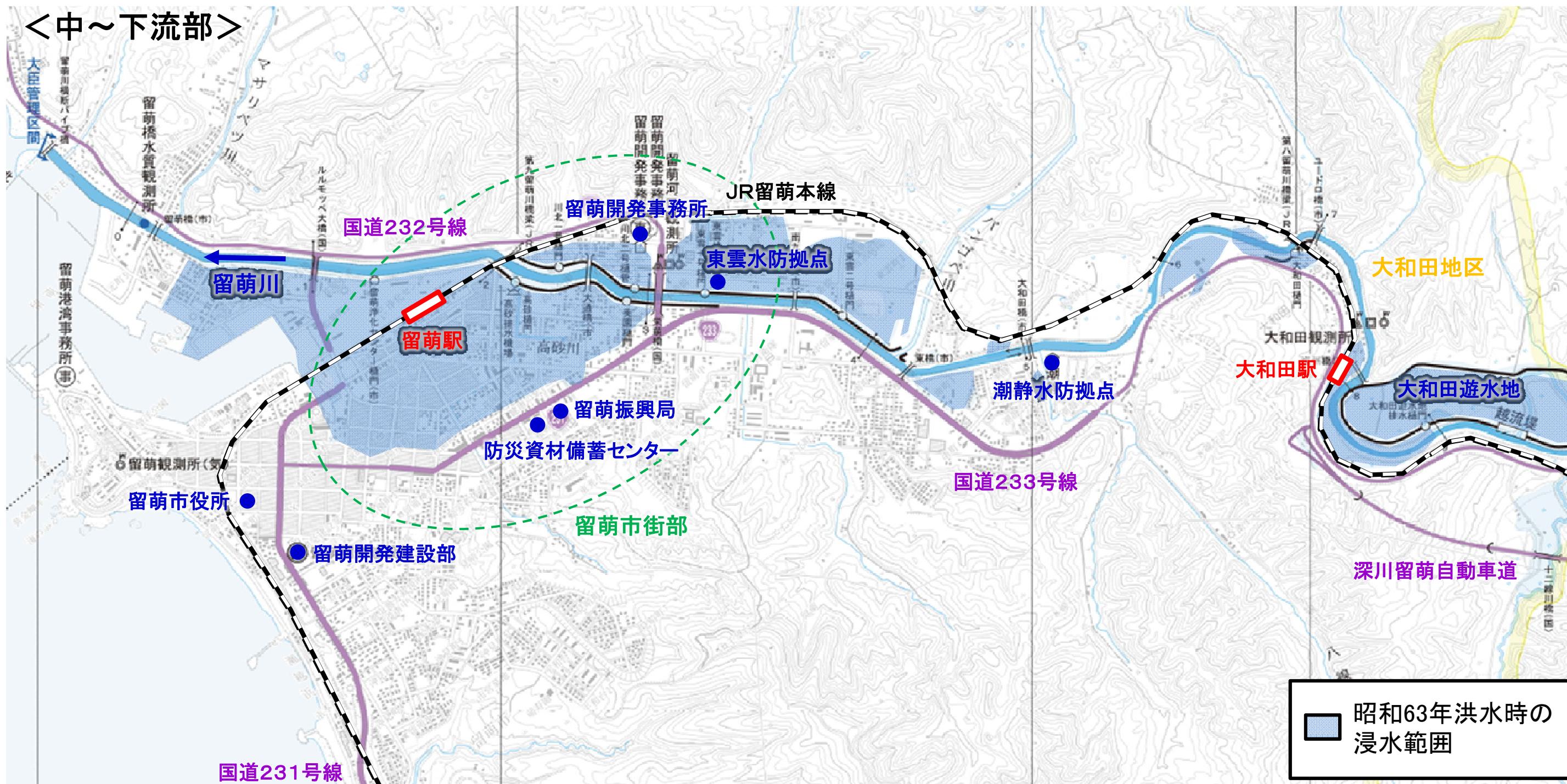
昭和63年洪水では市街地の1/3が浸水し、また急激な水位上昇が観測された。



3. 留萌川の概要と主な課題～留萌川の地形的特徴～

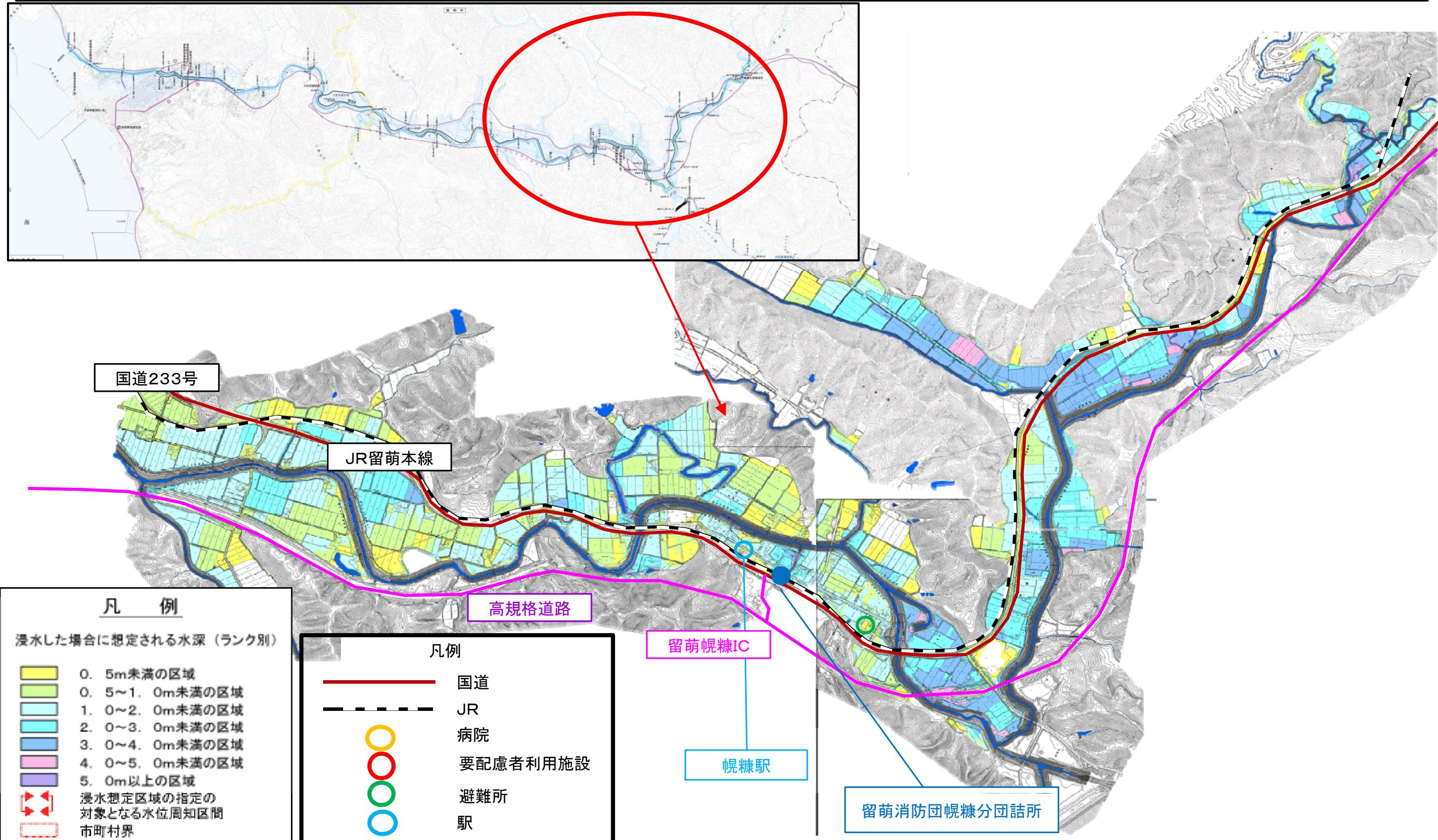
- ① 山地に挟まれた地形(谷底を流れるような地形)を流下することから、流域内に降った雨は短時間で留萌川に集中する。
- ② 中上流部では狭隘な低平地が河川沿いに分散し、集落が形成されており、下流部では三角州状の低平地に留萌市街地が形成され、留萌川が市街中央部を貫流する。

昭和63年洪水では市街地の1/3が浸水し、また急激な水位上昇が観測された。



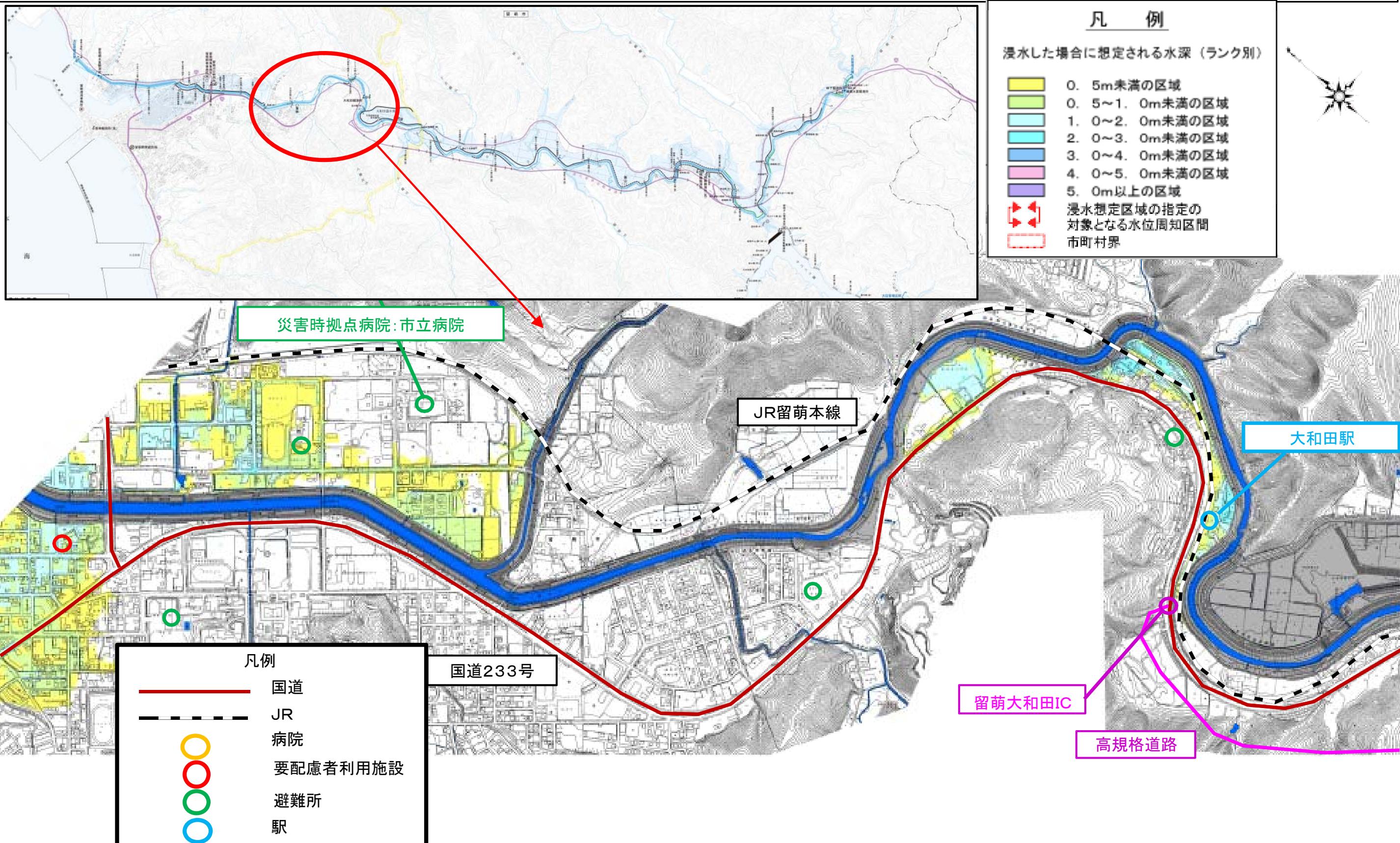
3. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(上流部)～

上流部の集落が位置する狭隘な低平地はほぼ全域にわたり浸水し、住宅のみならず、限られた近傍の避難所施設においても浸水のおそれがある。加えて分散する地区を結ぶ国道233号線をはじめとする避難路が途絶するおそれがある。



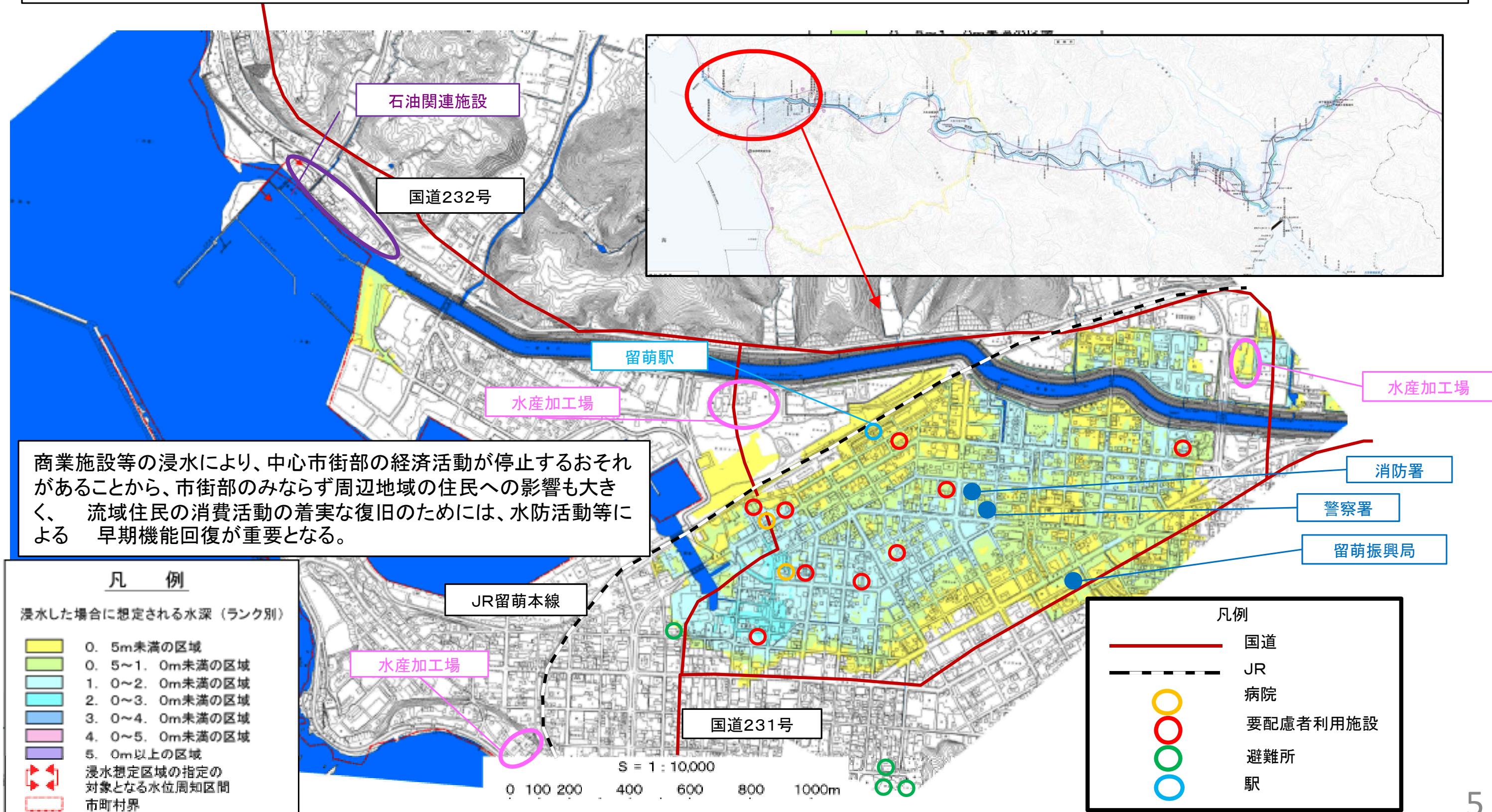
3. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(中流部)～

留萌市街部から高規格道路に至る国道233号線が、浸水により通行止めとなり、上流で浸水が生じた場合の負傷者等の災害時拠点病院への搬送や、留萌市街地への避難が困難となることに加えて、周辺市町村からの支援受入に時間要するおそれがある。



3. 留萌川の概要と主な課題～留萌川流域の主な課題(下流部)～

留萌中心市街東部では、氾濫水の到達が速く、早期に避難困難水位に達することに加え、氾濫水の広がりにより、広範囲にわたり1階部分が水没する懸念がある。当該地区には住宅等が高密度で分布しており、災害時要配慮者利用施設も複数存在することから、高台の避難所施設への水平避難や、施設内における垂直避難の迅速な実施が必要となる。



4. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施している。
- ・重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開発建設部長から留萌市長に対して情報伝達（ホットライン）をしている。

■留萌川洪水予報区間



課題

A

- ・洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不充分であることが懸念される。

4. 現状の取組状況

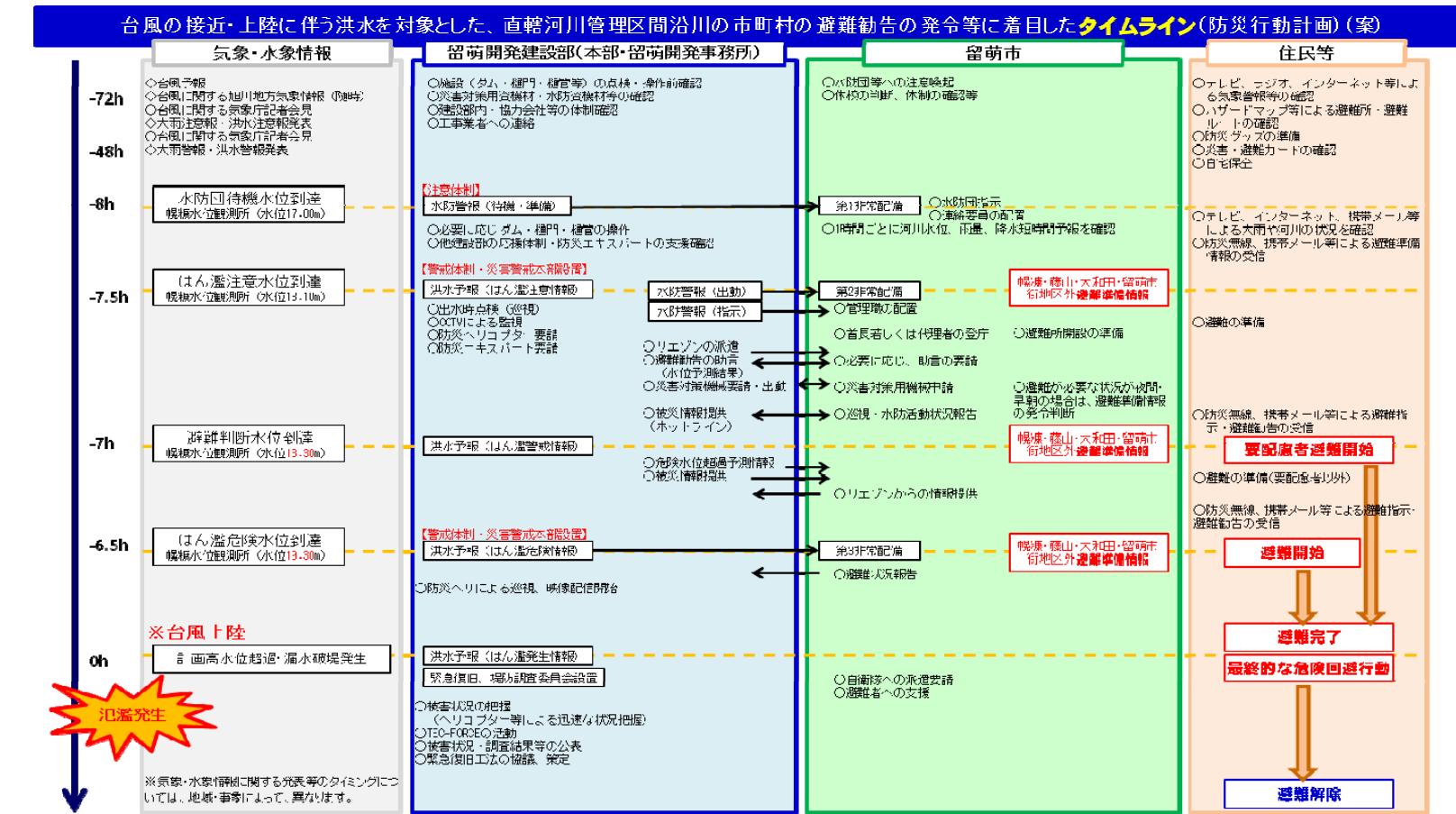
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成している

留萌市の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



課題

B

- ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

C

- ・現行の地域防災計画には、水位に対応した避難勧告等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、災害時要配慮者利用施設等への情報伝達の手法等が定められていない。

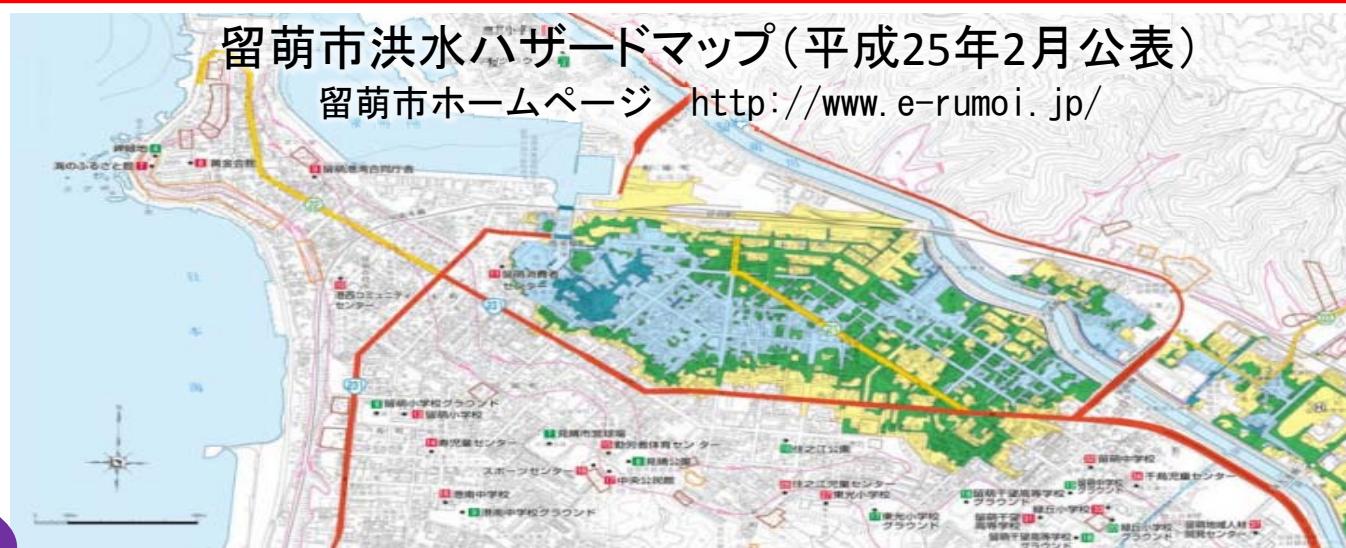
4. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・浸水想定区域図に基づき、洪水ハザードマップを作成し浸水範囲、避難所、避難場所を周知している。また、まるごとまちごとハザードマップを設置している



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



課題

- D
- ・浸水想定区域図に記載された浸水深等の情報がリスクとして充分に認識されていないことが懸念される。
- E
- ・避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。
- F
- ・市街地の大部分が浸水する可能性があるため、多くの避難者が集中した場合には、避難所施設が不足することが懸念される。
- G
- ・広範囲の浸水により、近傍の避難場所が利用できなことが懸念される。
- H
- ・中上流部では国道の浸水により、災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

4. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車等により伝達するとともに、FMもえるを活用した情報発信も実施している（インターネット配信も実施しており、スマートフォン等でリアルタイム情報取得が可能）。
- ・ 避難誘導は、地域防災計画に基づき市職員、警察、水防団が実施する。

↓

課題

I

- ・ 高気密性住宅が多いことに加え、風雨などの騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

J

- ・ 高齢者など一部の住民に伝わっていない可能性がある。文字・水位情報のみでは分かれにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。

K

- ・ 地域防災計画には、市職員、警察、水防団が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

4. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡回区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 基準観測所の水位により水防警報を発表している。



課題

- L
- ・ 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不充分である。

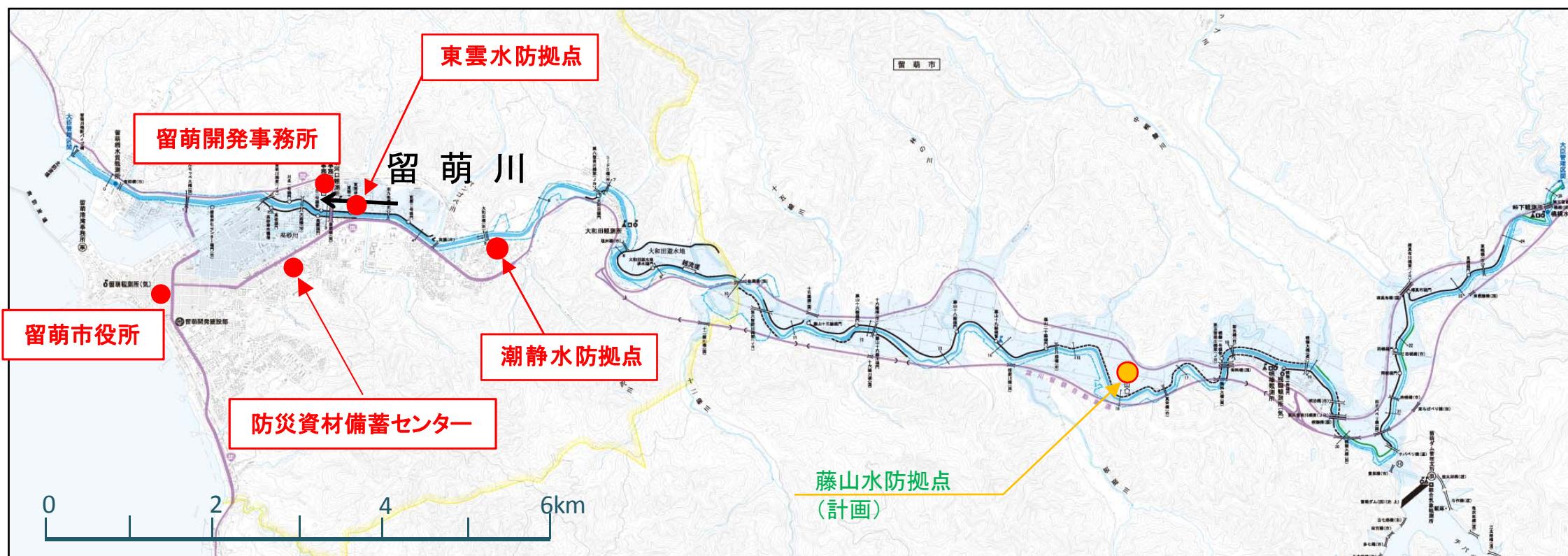
4. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所の合同巡視を実施しており、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。
- 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



課題

M

- 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とは言えない。

N

- 中上流部における水防資機材保管場所が確保されていないことから、資機材搬入時間の短縮が求められる。

4. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡回区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・災害発生時に地域で相互に協力できるよう、関係機関が連携して運動会形式の留萌市市民防災訓練を実施している。
- ・市職員が「北海道地域防災マスター」を積極的に取得し、防災体制の強化に努めている。
- ・自助・共助による災害に強い地域づくりを目指し、リーフレットやHPで自主防災組織の結成促進に取り組んでいる。



留萌市市民防災訓練（平成26年8月30日実施）

課題

- 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

4. 現状の取組状況

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

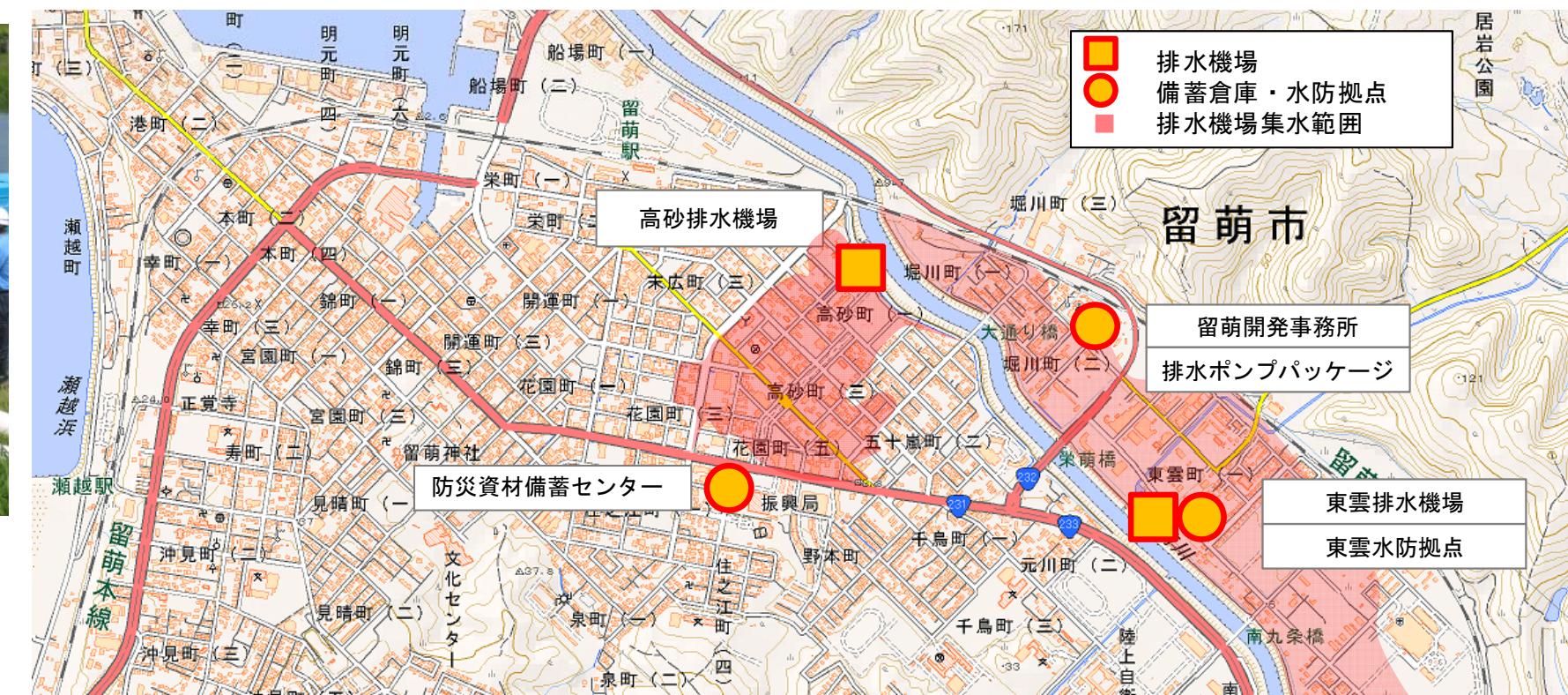
『排水施設、排水資機材の操作、運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

- ・関係機関と連携した排水訓練を実施している
- ・水防資機材は事務所、水防拠点等に保有しており、非常時においては水防団等への貸し出しが可能である



関係機関と連携した排水訓練



課題

- P
- ・大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。
- Q
- ・広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、共有が不充分である。

4. 現状の取組状況

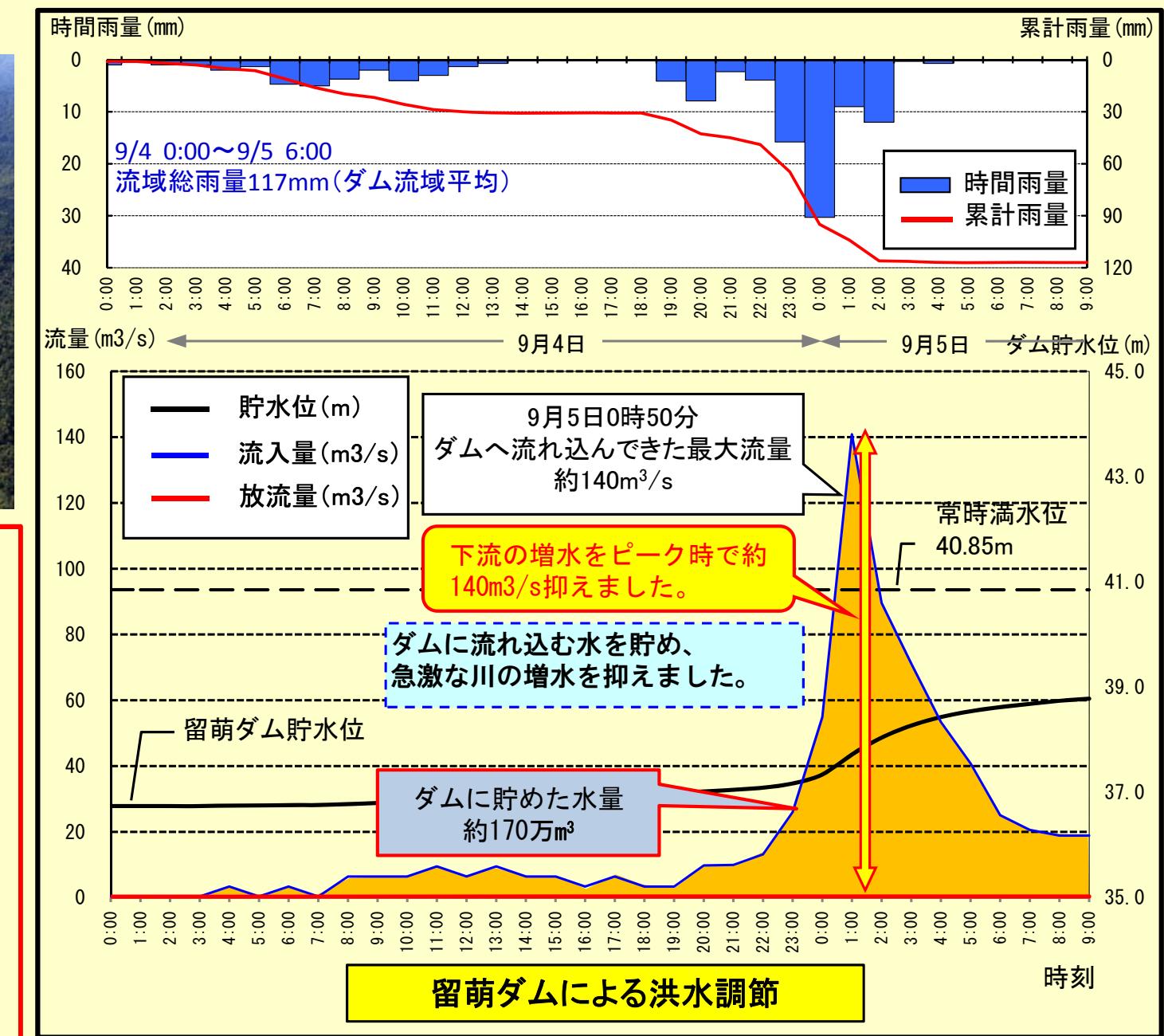
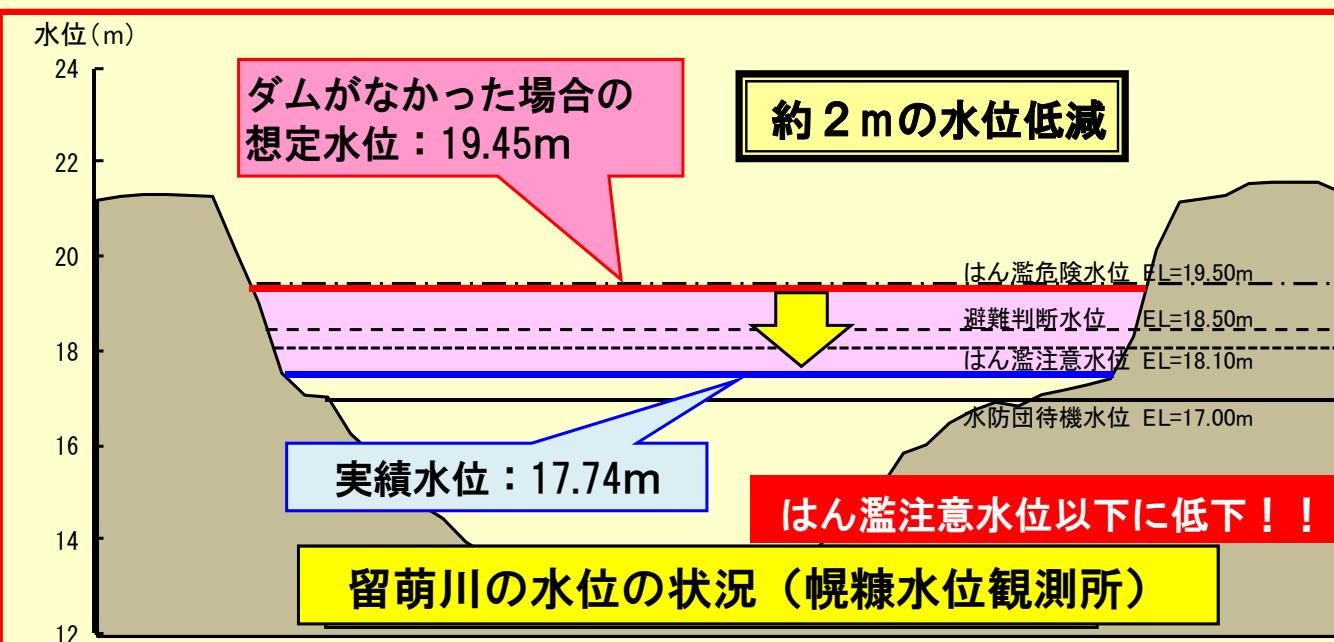
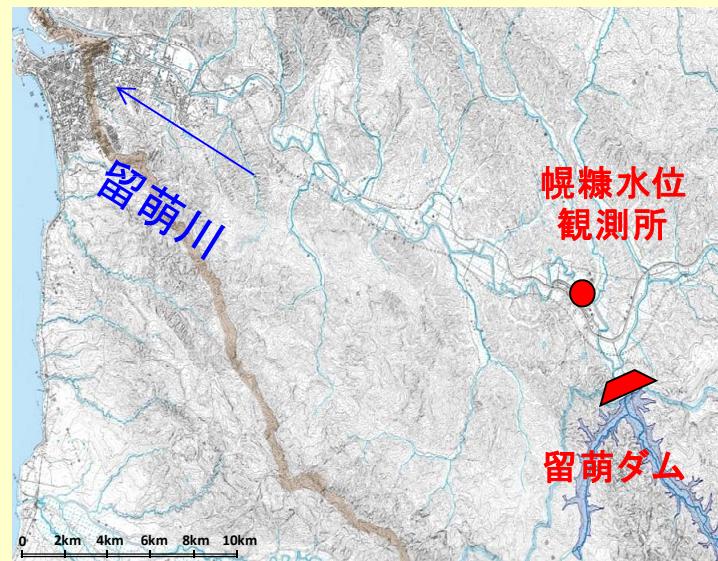
③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

『排水施設、排水資機材の操作、運用』、『既存ダム・遊水地における洪水調節の現状』

現状

- 平成22年4月より留萌ダムの運用を開始し、洪水調節により、平成25年9月洪水時には約2mの水位低減効果(幌糠水位観測所)を発揮している。

平成25年9月洪水時の効果



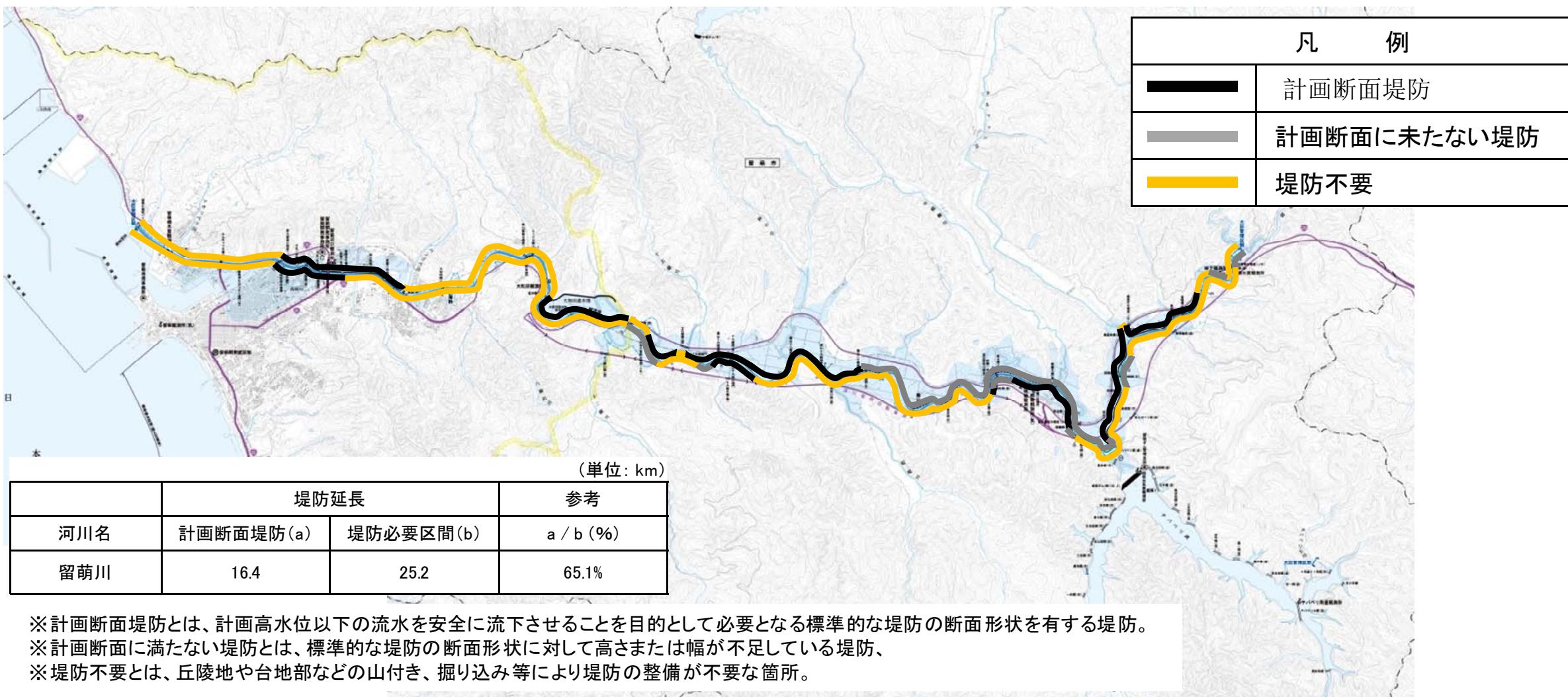
4. 現状の取組状況

④ 河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- ・計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、中流部で堤防整備を実施している。



課題

R

- ・無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある

5. 減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

留萌川の大規模水害に対し

「迅速・確実な避難」、「社会経済被害の最小化」を目指す
～急激な水位上昇に対応可能な迅速・確実な避難と氾濫域の洪水被害軽減を図る～

■ 上記目標達成に向けた3本柱

留萌川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組
2. 社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組
3. 社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

6. 概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

①急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討
- ・道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・避難のための時間等を考慮した避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催
- ・コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

②社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

③社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■洪水を河川内で安全に流す対策

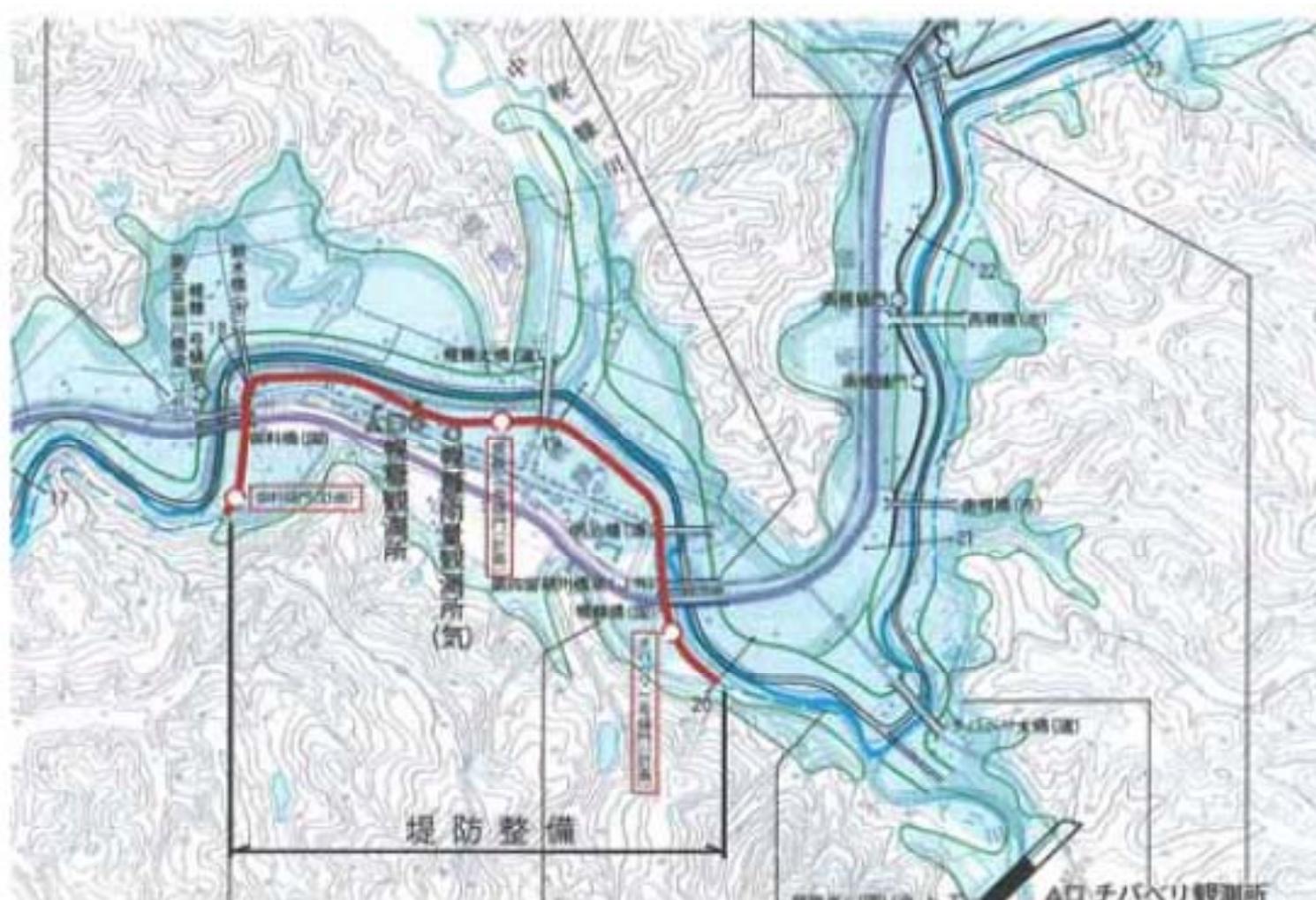
課題対応: R

○幌糠地区の堤防整備

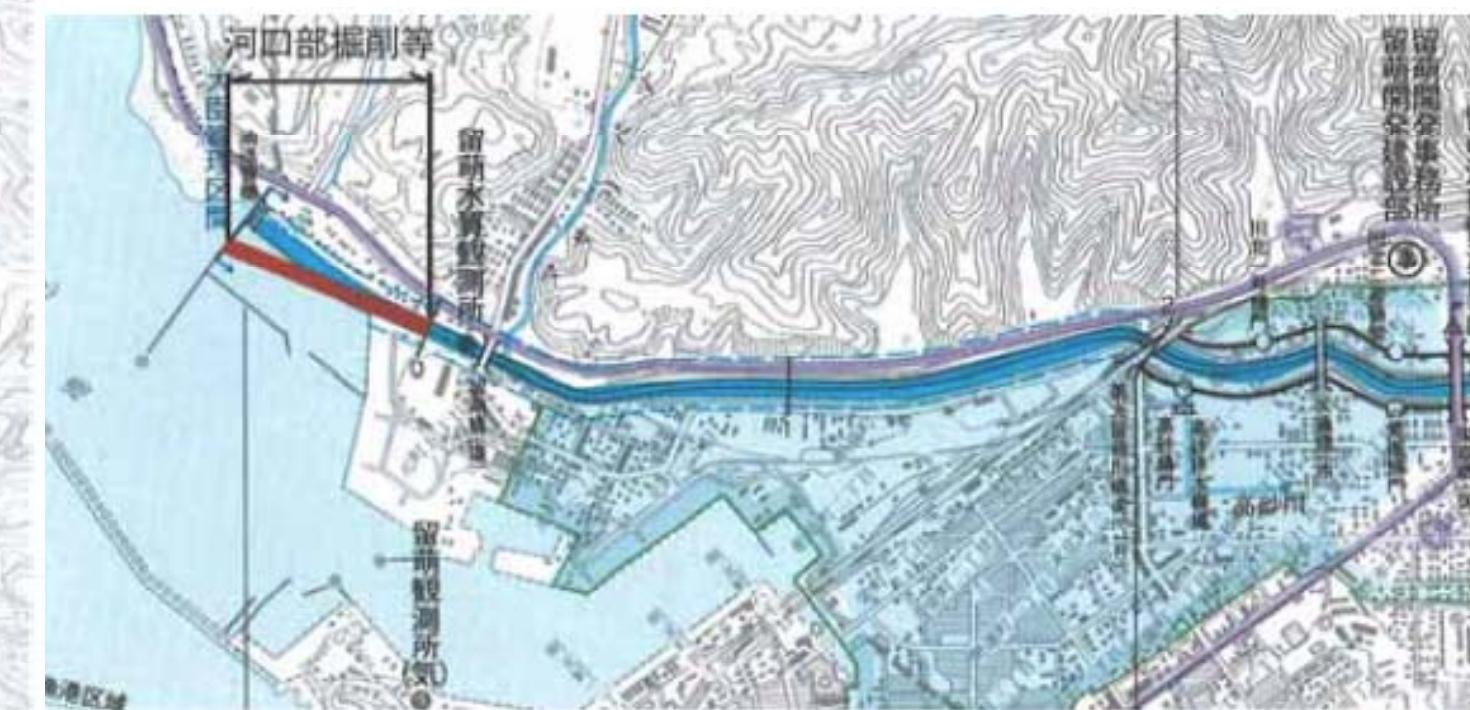
【～平成32年度：留萌開発建設部】

○留萌市街地区の河道掘削

【～平成32年度：留萌開発建設部】



幌糠地区堤防整備



留萌市街地区河道掘削

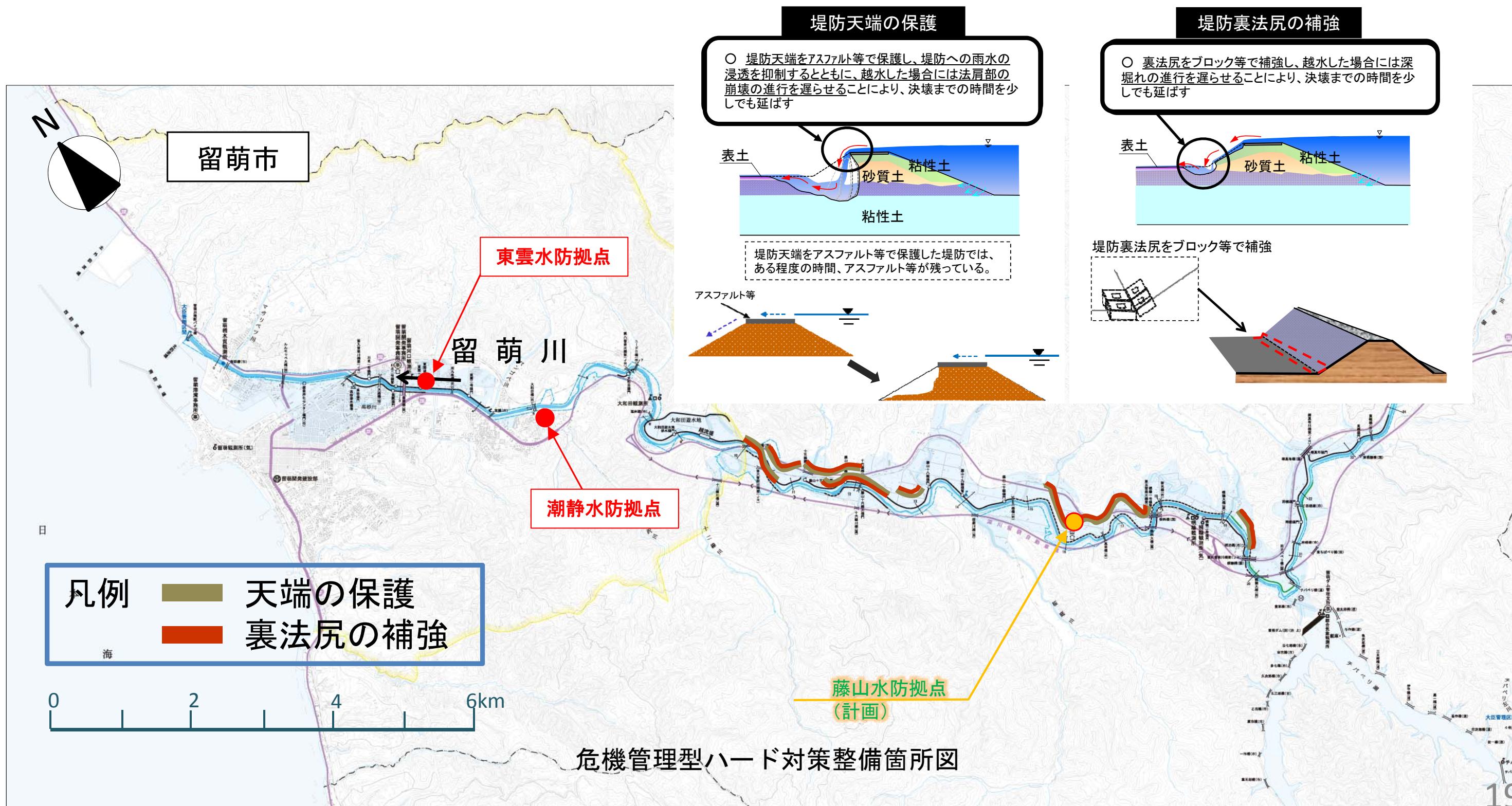
6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■危機管理型ハード対策

課題対応: R

氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、平成32年度を目途に決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。

【～平成32年度：留萌開発建設部】



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: I J

- スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築 【平成28年度から実施:留萌開発建設部】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 【平成29年度から実施:留萌開発建設部】

○水防拠点の整備(藤山地区)【～平成32年度:留萌開発建設部】

課題対応: N

PC・スマホでライブ映像が確認できる

詳細検索 積水の仕方
留萌川候水位観測所(留萌市大字)
(河口から18.54km)

現在の川の様子 平常時の川の様子

16/03/15 20:00 のカメラ映像
最新観測時刻: 2016年03月15日 20:20
現在水位: 13.08m

デジタル放送のデータ放送で河川水位を確認できる

NHK札幌放送局 提供
画面はサンプルです

河川水位・雨量

石狩川 1/12

朝3日 9:00 更新

増減 正常水位

藤路観測所

石狩川 曽根川 厚別川 夕張川 幸通川 脱穀川 裏の沢 西跡 円山

NHKデータ放送画面

リモート監視

リアルタイム 河川の防災情報

北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄

全国レーダ雨量

「洪水予報・水位周知河川」情報発表状況

洪水予報 水位周知河川

気象警報

洪水予報や水防警報などの情報を入手できる

リアルタイムで川の水位情報を確認できる。

国土交通省北海道開発局河川リアルタイム情報

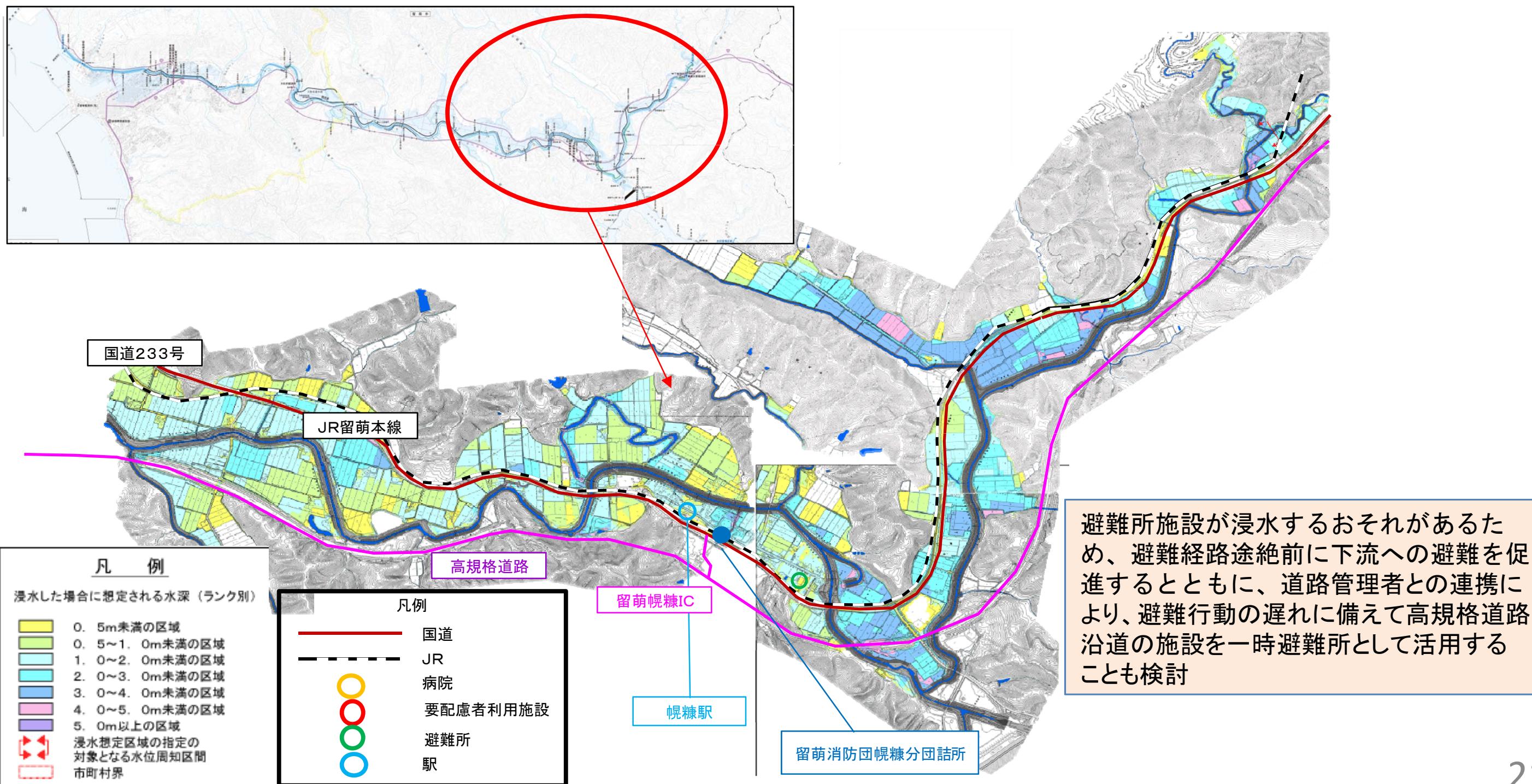
国土交通省 川の防災情報

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: E F G

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映 【～平成30年度：留萌市】
- 道路管理者との連携による高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討 【～平成30年度：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】



6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: B C K

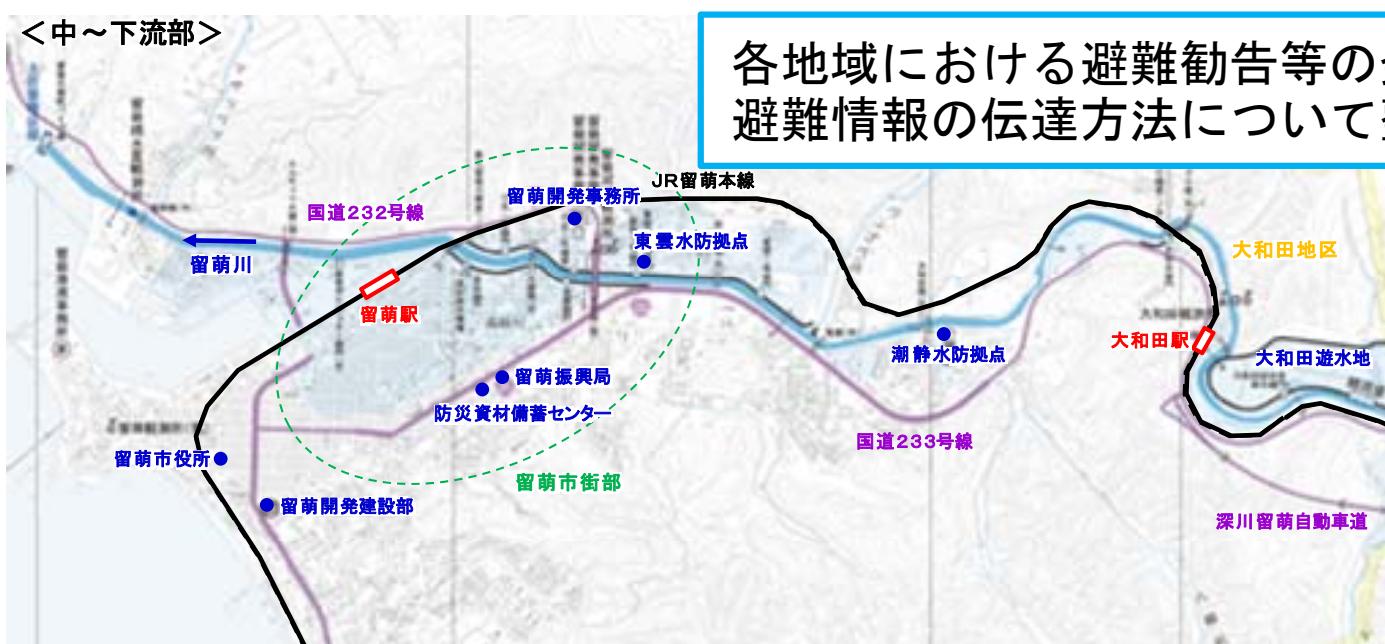
○タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上

【平成29年度から実施:留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市】

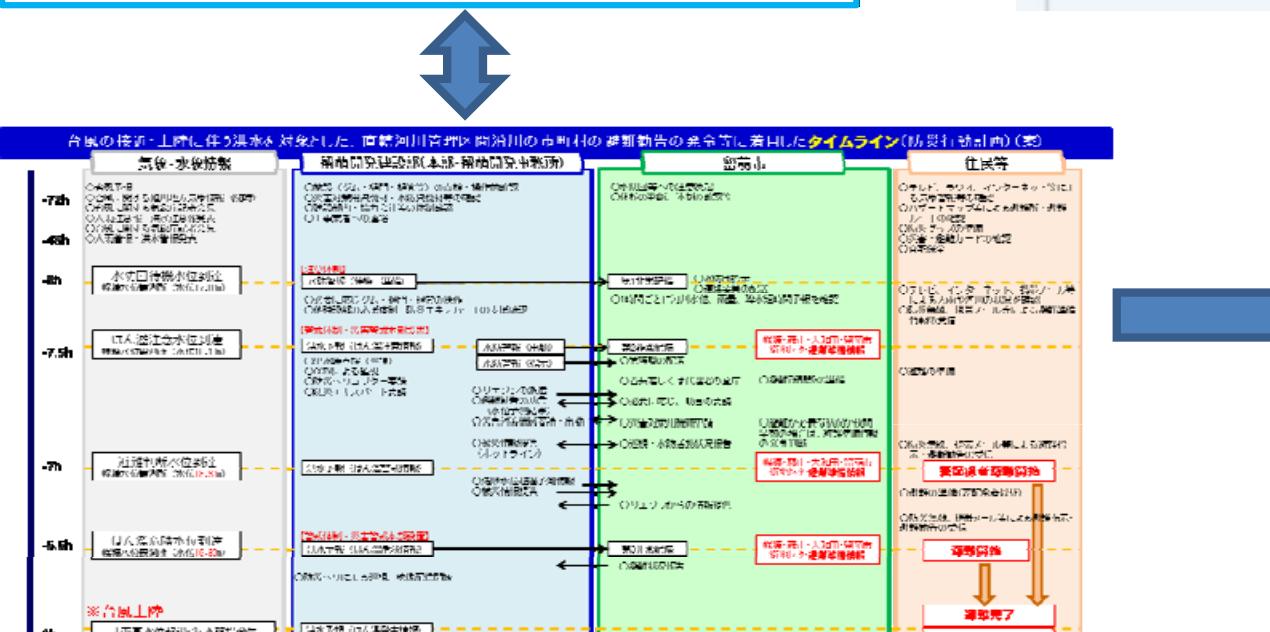
○各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し 【～平成32年度:留萌市】



関係機関と連携した訓練の実施



各地域における避難勧告等の発令タイミングや、
避難情報の伝達方法について整理



避難勧告等の発令に着目したタイムラインの見直しを通じ、より実践的な内容に精度向上

住民の円滑かつ迅速な避難行動を促せるよう、例えば水位に対応した避難勧告等の発令基準・発令対象地区や、災害時要配慮者利用施設等への情報伝達の手法等について、市職員向けマニュアルの作成、地域防災計画への反映を図る

留萌市地域防災計画

留萌市防災会議

(平成24年4月1日)

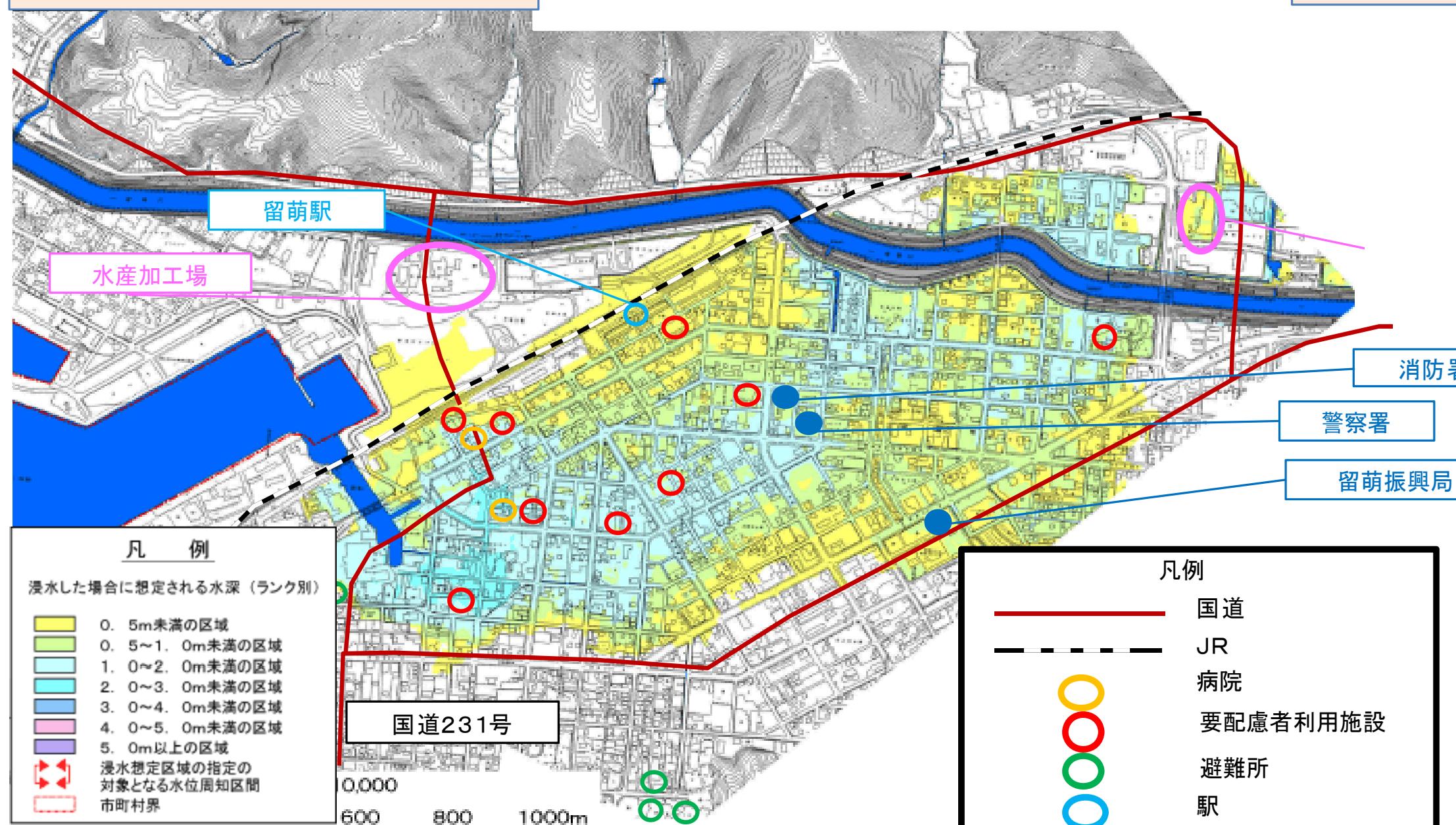
6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: C E

- 災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進 【～平成32年度:留萌市】

災害時要配慮者利用施設に対しての
水害リスク情報の提供



災害時要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成

医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）
に係る避難確保計画作成の手引き（案）

（洪水・内水・高潮編）

平成27年7月

国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課水防企画室

この手引きは、水防法（昭和24年法律第193号）に基づき作成する、洪水・内水・高潮時（以下「洪水時等」という）における避難確保計画について、記載例と留意事項等を示したものである。

市町村地域防災計画に定める医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）ではこれを参考に、施設の種別や立地条件等の実態に即した計画を作成することが望ましい。

なお、本手引きは、洪水・内水・高潮を対象としているが、津波防災地域づくりに関する法律に基づき作成する、津波を対象とした避難確保計画とも整合を図ることが望ましい。

また、本手引きは、新たに作成する避難確保計画を念頭に記載例等を示したものであるが、消防計画や地震等の災害に対処するための具体的な計画を定めている場合には、既存の計画に「洪水時等の避難確保計画」の項目を追加することでも良い。避難確保計画の作成にあたっては、市町村が作成する洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ、高潮ハザードマップ（以下「洪水ハザードマップ等」という。）で情報の伝達方法や避難場所・避難経路等を確認するとともに、不明な点については避難確保計画の報告先である市町村に確認されたい。

医療施設等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設等）に係る避難確保計画作成の手引き（案）（洪水・内水・高潮編）
【国土交通省】

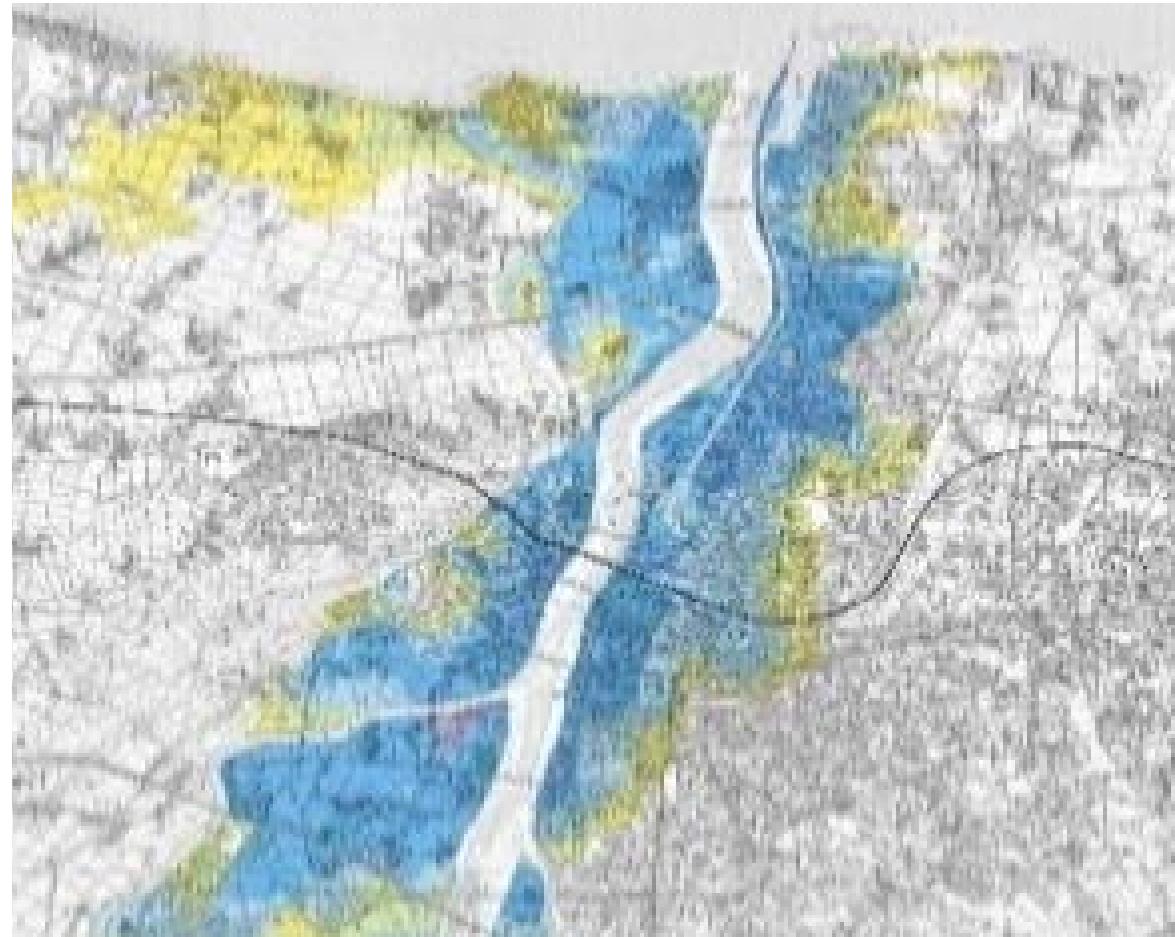
6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

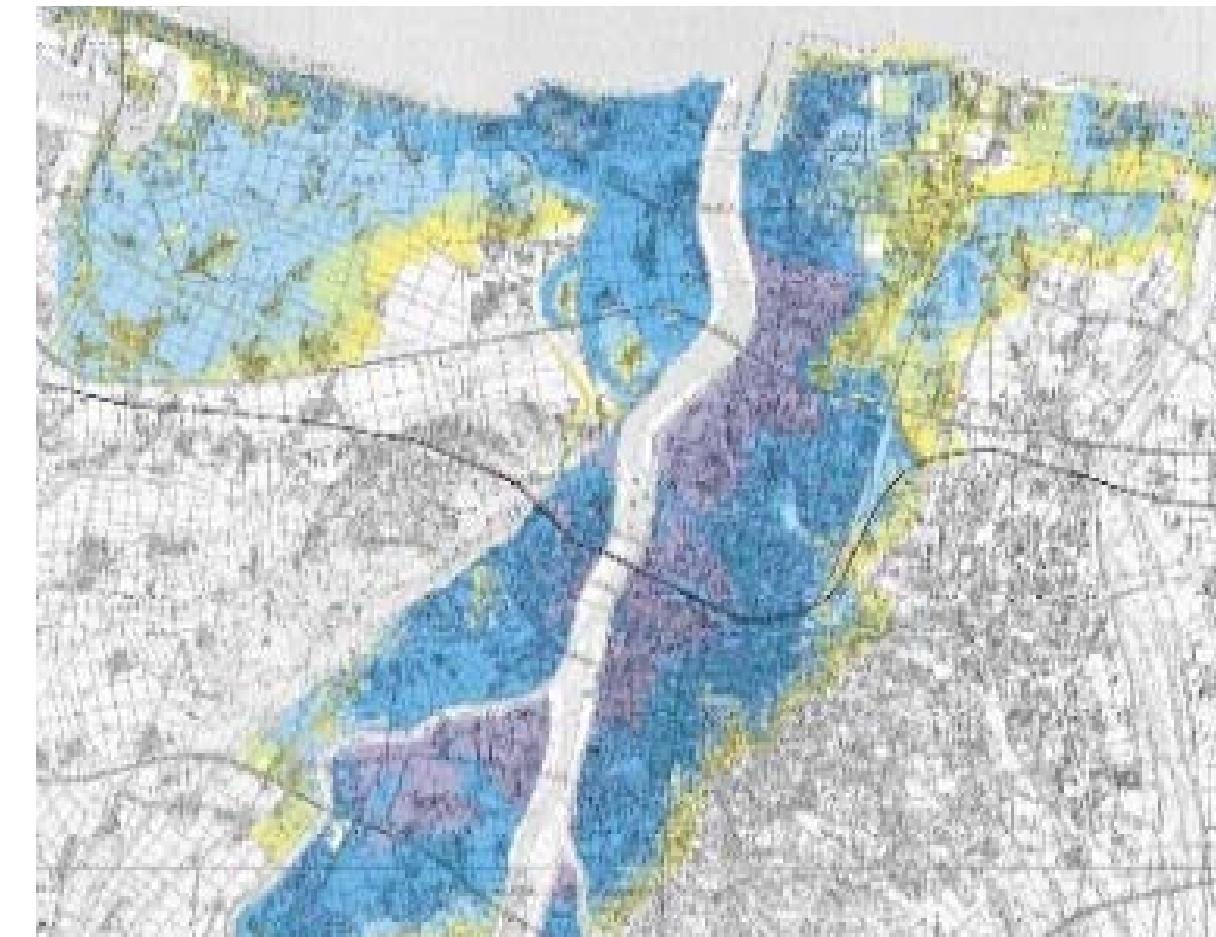
課題対応：D

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
【平成28年度：留萌開発建設部】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知【～平成30年度：留萌市】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの作成と周知
【～平成31年度：留萌市】

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

6. 概ね5年で実施する取組～急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: A D J

○関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催

【平成29年度から実施:留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市】

○小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

○コミュニティFM放送やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実

【引き続き実施:留萌開発建設部、旭川地方気象台、留萌振興局、留萌市】



防災教育の実施状況



コミュニティFM放送「FMもえる」と行政の連携による情報発信
(写真は高橋市長出演時の様子)

<出典>エフエムもえる資料

2008 8 広報るもい

エフエムもえる 76.9MHz
「おもいっさり留萌市」毎週月曜日
午前 10:00~11:00
「留萌市情報プラザ」毎週月曜日~金曜日
午前 10:00~11:00 / 午後 14:00~15:00

留萌神社祭

7月15日から16日までの3日間、留萌神社祭が開催されました。すごい人出で、とてもにぎわっていました。浴衣を着た女性もたくさんいて、「夏の祭りだなあ」と思いました。クジ引きやスマートボールは特に人気があり、家族や子どもたちが楽しもうと遊んでいましたよ。

特集 あれから20年、その教訓を糧に今…
—留萌史上で最大最悪の水害—

6p みなさん、こんにちは！日本赤十字社です
8p 留萌市議会だより
16p 読めばなるほど！とびっくす
18p 今月はこんな情報 アルダス

留萌市広報誌による水防意識の啓発(2008)

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応： M

- 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施

【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

課題対応： K L O

- 関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施

【引き続き実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】



2015.10.29 留萌川幌糠地区住民との共同点検



関係機関連携による水防訓練
(写真は昨年度開催した水防技術講習会)



6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

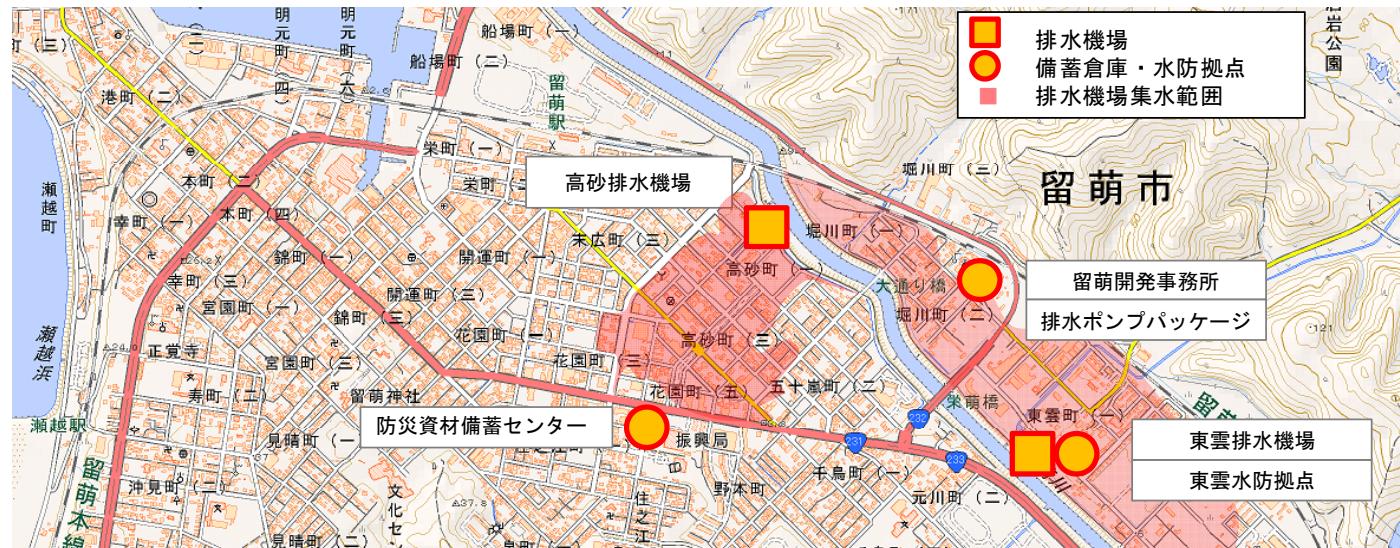
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応： N

- 迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実
【平成28年度から実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

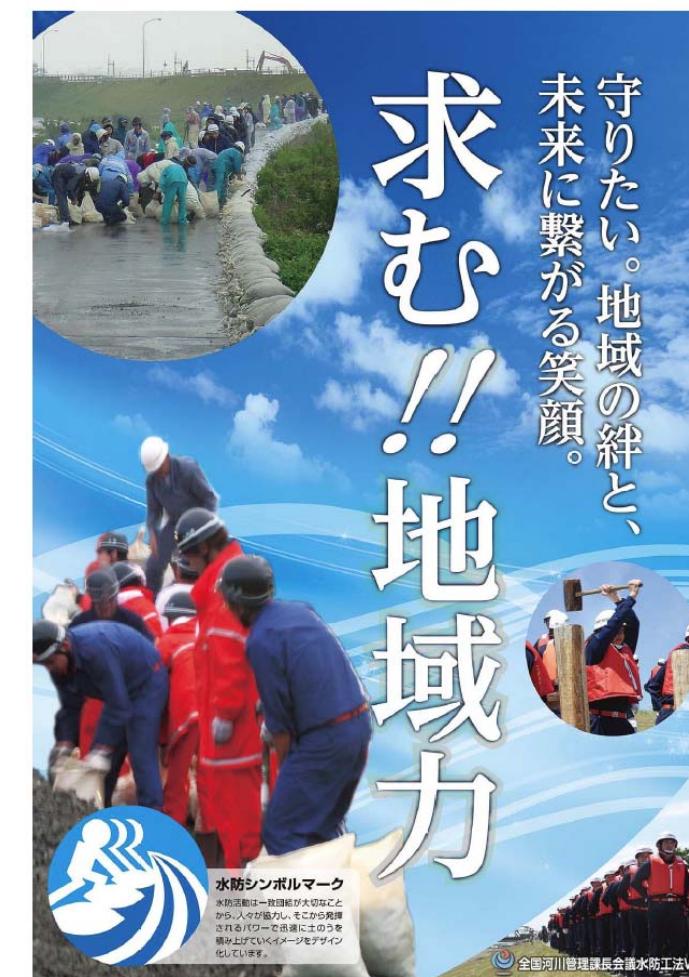
課題対応： ○

- 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員の確保を図る
【平成28年度から実施：留萌市】



区分	備蓄倉庫等名（住所）	水防用資材			水防用器材								
		麻袋・土のう袋類	布シート（席）	ビニールシート	木杭・鉄杭	予備土	トンパック	掛け	ツルハシ	スコップ	鎌	ハンマー	一輪車
【留萌開発建設部】	留萌開発事務所	堀川町2丁目78	300	78	894		171	6	4	6	3	1	2
【留萌振興局】	東雲水防拠点	東雲町1丁目134-2	7,200	100		800	150						
防災資材備蓄センター	住之江町2丁目1番地2	6,500	15				37	30	100	56	11	5	

水防資機材の保有状況



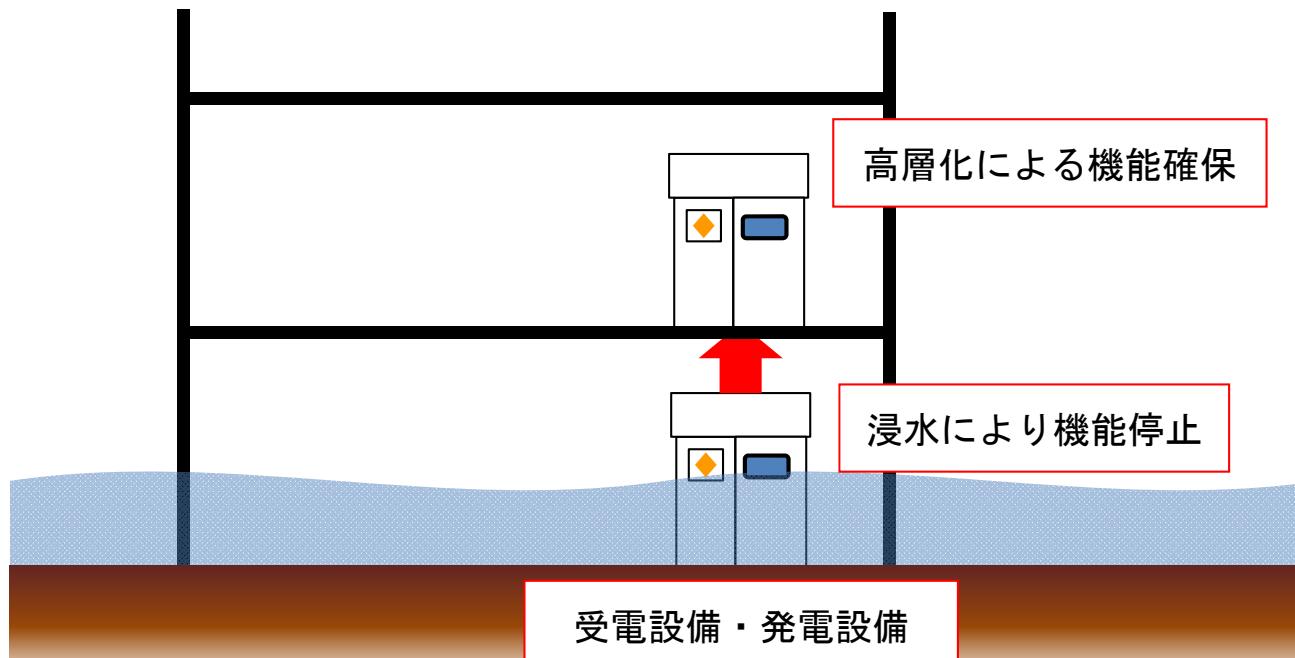
ポスター掲示による水防団員の募集

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応: ○

- 浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報提供を図り、耐水化を促進
【平成28年度から実施:留萌市】



非常用電源の確保、電源設備の高層化



遮水設備による浸水の防止（イメージ）

6. 概ね5年で実施する取組～社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応: H P Q

○想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【平成30年度：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

○訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【平成28年度から実施：留萌開発建設部、留萌振興局、留萌市】

災害出動要請に係る関係機関との調整に関する
体制を確認（共同訓練）



想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成

既設排水系統について情報共有の上、関係機関が保有する
排水ポンプの的確な設置場所や搬入ルート等について事前に
計画



7. フォローアップ

今後、想定最大規模の洪水に対する取組方針について、改めて検討を行い、取組方針の見直しを実施する。

各関係機関の取組については、必要に応じて防災業務計画や地域防災計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則、部会を毎年出水期前に開催し、取組の状況を確認し必要に応じて取組方針を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。

なお、今後全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集したうえで、取組項目を見直すことがある。

フォローアップ調査表参考例

大項目	中項目	小項目	取組主体	進捗達成度					その他 (実施にあたっての問題点・要望等)
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討							
○○	○○	○○							
○○	○○	○○							